

1. 教科の目標

- ・豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。
- ・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。
- ・自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにする。

2. 到達目標

観点	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
目標	自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。

3. 年間指導計画

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	ぼくの顔、わたしの顔	・自分の顔をよく見て、書くことができる。
5	絵の具のふしぎ	・水の量や筆を加減することで現れた絵の具の変化を楽しむ。
6	キラキラ光る絵	・人口光や自然光を利用した造形活動を工夫する。 ・完成した作品を光に当ててキラキラ光る感じを楽しみながら鑑賞する。
7	ひもでつくろう	・粘土のひもをのばしたり、まいたり、ついたりしてできた形から想像を広げて作品を作る。
9	コロコロ コロガラート	・ビー玉が転がる仕組みを工夫し、楽しい迷路を作る。 ・作品を交換して遊び、作品の特徴や工夫した点を話し合う。
10	わすれられない日	・印象深い思い出の場面を選びながら絵に表し、作品について友だちと話し合う。
11	お話の世界	・物語を十分に楽しみ、表したい場面の面白さや雰囲気や伝わるように、画面や色を効果的に表す。
12	ハッピーカード	・伝えるメッセージを決め、その内容を仕組みと合わせて工夫する。
1	木から生まれた世界	・彫刻刀を使って、彫ったり、刷ったりする活動を楽しむ。 ・自分の生活の一場面を表したい思いが伝わるようにどこを彫るか考えて彫る。
2		
3	まとめ	・1年間の活動のまとめをする。

4. 評価の観点・方法

- ・次のような方法で評価していきます。
製作態度 作品 発言内容 作品紹介・作品鑑賞の内容

5. 保護者の皆様へ

図画工作では、学校で注文する教材の他に単元によっては、家庭にある廃材などを利用して創作活動にあたる場合があります。その際にご協力をお願いします。絵の具や彫刻刀などの学習用具の忘れ物をしないように学校で指導しますが、ご家庭でも注意して頂けると助かります。作品を家庭に子どもが持ってかえったときは、その作品のよさや子どもががんばったところをぜひお話しください。